



# みんなで子育て No.12

願いがあり工夫された活動が一杯です。

## 各務原市 あさひ子ども館 育児講座「～育児を楽しむヒントがいっぱい～」

11月6日(金) 講演会型・体験活動型

講師：館長 横山麻弓 氏

内容：子どもにこんな力がついたら幸せになれる。→自己肯定感



- 子どもは依存、反応、自立の繰り返し。全て受け止める。
- 「甘やかす」と「甘えさせる」イヤイヤ期＝自分で決めたい期。自分で決めたことは守る。  
例：「帰るよ」というと「いやだ」  
→帰る時間だよ。何か一つ遊んでから帰る？外の遊具で遊んで帰る？どちらにする。と言って選ばせる。
- おりこう脳といやいや脳  
転んで泣く子に「大丈夫、大丈夫。痛くない。泣いてはいけない」を繰り返すと感情が出なくなる場合がある。「痛かったね。よしよし」と子どもが感じた気持ちを言葉で繰り返すと分かってもらえたという感覚になる。
- 子育てで大切なこと  
・子どもは3歳までに一生分の恩返しをする。



- ・子どもは0歳からステキな能力を持っている。
- ・目の前のたった一人の子を愛することは世界人類のどの仕事より素晴らしい価値のあること  
①遠くから見守る。②ほほえみを返す。③泣いたらあやす。④できるまで待つ。⑤いっぱい遊ぶ。

### 〇感想

- ・イヤイヤ期で日々疲れていたのもとても参考になりました。いつも止めることが多いので“受け止める”ことに重きを置いて対応できたと思います。2歳児を一人の人間として、聴いてあげられればと思いました。ありがとうございました。
- ・しつけをしなきゃと思っていたけど、誰に対してのしつけなのか気が付きました。今はまだ理解していない時期なので親の保身のためのしつけではなく子どものためになるように一緒に成長していきたいです。

### コメント

お話は1時間でしたが、託児があったのでお話に集中できました。「ママ」「おこだでませんように」「TODAY」といった絵本、子育ての参考になる本及び著者や言葉の紹介がとてもたくさんありました。子どもの立場で「よい子でいたい」という基本姿勢、また、母の立場で子育てをしているといろいろなことまでできないと思ってしまうこと等、本を通じて伝えたい内容が心に届きました。

脳のお話で、痛いことを我慢するように強く伝えると、我慢しすぎて素直な反応が出せなくなるというお話は「受け止める」ことの重要性につながります。参加者の感想で「悪魔の母になっていた」という気付きを書かれた方がいましたが、今日のお話を聴いて気づけるということが、本日の会に参加された方の宝物だと感じました。非常に中身の濃い研修となりました。



多くの本の紹介がありました

### あさひ子ども館の紹介

子ども館には絵本だけでなく、保護者用の本も多くあり、その紹介もされているので、帰りに貸出を希望される方もいらっしゃいました。参加された方はみな子ども館の職員と顔なじみであり、託児中に「みんなで遊ぼう、アンパンマン体操」も来館者と一緒に行われていて、なじんでいる姿がほほえましかったです。外の広場でも遊具で遊ぶ姿があり、環境が整えられていると感じました。



受付の透明シート



敷地内の芝生・遊具

岐阜県家庭教育支援条例  
家庭教育の9項目のうち  
今回の学びは 😊 の5項目



# 防災出前講座「自らの命や大切な人の命を地震から守る ～避難所に行かないための防災～」

家族全員での防災学習、山県市では、校区ごとに防災の講演会を行っており、コロナ禍でも、基準に従い対策を取れば、学校の規模によっては実施が可能ということで、家族も参加しの実施です。下校時には家族一緒に通学路の危険箇所チェックです。

- 1、コロナ感染対策: 全校の保護者24家族のうち参加23家族 案内に検温、マスク着用を明記、消毒、換気、加湿器、家族ごとの椅子の配置(2mの間隔)
- 2、内容

最初にみんなでジャンプして、体育館が揺れるか実験。答えは震度0。今日は震度7の勉強です。



校内危険箇所の確認

### ●クイズ等

- 揺れ始めて本棚は何秒で倒れるか? ○どうやって命を守るか?
- 何秒で揺れは収まるか? ○走って逃げられるか?
- この体育館で危ない場所に新聞紙を置こう。

### ●地震の際に自分の体を守る姿勢: ダンゴムシのポーズの正しい方法。 地震速報が聞こえたら、フライングしろ!

### ●グループで校内を動いて、危険を考える。

### ●7年保存のパン試食

中学生ボランティアが配ります。



中学生ボランティアの説明

- 防災グッズコーナー: 1 突っ張り棒 2 留め金各種 3 下地センサー 4 ブレーカー落とし 5 飛沫防止シート 6 踏み抜き防止

- クイズ: もしブロック塀があったらどうなるか。  
サザエさんの家の様子を見ながら、校内で行ったように危険を探す。

- テスト: 地震速報に全員で反応する。

★このあと児童は教室へ行き下校の準備。家族で下校します。ブロック塀だけでなく、通学路の危険箇所を確認しながら帰ります。

### ◎残った家族で講演を聞く。

- ・地震があっても避難所に行かなくてもよいように。日本の建物は震度7でも耐えられる。でも感染は心配

### ●防災とは災いを防ぐこと。

- ・映像で家庭内の危険を知る。地震に対してどうやって命を守るが地震への家庭教育が抜けている。
- ・家庭内DIGの実践例、部屋の危険性を確認、脱出ルートの確保
- ・家庭内のことは「ビデオライブラリー 家庭 消防庁」の検索で確認できます。
- ・防災効果の継続、どこが安全かを知っていること

### ○参加者の感想等

- ・中学生: とっさの行動は周りを見ながらしないとイケない。グッズは初めて見るものだった。
- ・今まで大きな災害に遭うことなく暮らせているので、今回の講座に参加し、改めて災害の恐ろしさを体験でき、どう身を守るべきか、普段からどう対策すべきか考えさせられました。子どもたちにもわかりやすく、楽しく参加でき、これまで以上に防災意識が高まったことと思います。これからではなく、すぐにでも身の回りを家族みんなで、確認しながら災害に備えなければいけないと強く感じました。
- ・今日の講座で今まで思っていた基本の避難と違うお話を聴けて、必ず机の下に隠れなければならないというのは違うんだなあと思った。ダンゴムシになる場所、仕方など、これから生活する中でどうしていかなければいけないのか、色々と考えました。



地震です

### コメント

家族ぐるみでの参加により、防災意識の向上は高いものになります。また、校内の危険箇所を考えることは家庭でのDIGの実践につながります。防災グッズの説明や7年保存のパンなどの配布を、ボランティアの中学生も行うなど、受け身の講演ではなく、主体的な講演で、学校の規模に応じた最良の防災講演会に感じました。PTA 会長さんの校区にある濃尾地震の碑のお話で意識の高さを感じ、最後に参加者みんなで片づける動きなど、とても良い雰囲気でした。下校が家族でできることが一番の実習ですね。

岐阜県家庭教育支援条例  
家庭教育の9項目のうち  
今回の学びは 😊 の4項目



# 各務原市立那加中学校区

10月19日(月)・11月24日(火)

## 学校運営協議会・子育て広場合同

### 「那加中学校区 保護者による挨拶を啓発する花壇づくり」

#### (パンジー、ビオラの花植え) 体験活動型



小学校前の道路



学校運営協議会では今年度「あいさつ」を活動の柱にすることを掲げ、中学校区の家庭・地域・学校で協働しながら取り組むことにしました。そこで、学校運営協議会とPTAの子育て広場(家庭教育学級)がタイアップして、あいさつが意識できる看板を一緒に作成し、花を植えた場所にその看板を添えることになりました。一緒に活動することで、あいさつの意識の広がりを作ろうと考えたようです。

看板の言葉は学校運営協議会の方々も考えられましたが、子育て広場の委員から「みんなに考えてもらおう」という意見が出て、参加の案内に併せてあいさつを啓発する言葉を募集することになりました。この募集には、あいさつの活動にできるだけ多くの方の参加ができるようにという願いが込められています。10月19日には80個の看板ができましたが、集まった言葉は更に多くあり、これを今後、どのように活用しようかと話し合われているとのことです。那加中学校区の活気が感じられます。



開会式

当日は学校運営協議会会長のあいさつから始まり、那加第一小学校の保護者はプランターに花・看板を入れる作業、那加中学校保護者は校門付近から各務原西高等学校前の歩道脇花壇、那加第三小学校の保護者は校門前から那加中央保育所までの歩道脇花壇に花を植え、看板を添えました。花植えには、児童生徒や園児も参加しました。



中学校付近

#### ○参加者の感想：

- ・天気が良くてよかった。校内だけだと思ったけれど、校外や保育園まで行くとは思わなかった。でも、地域の環境づくりに貢献できてよかった。
- ・看板づくりが新聞に載り、その続きができてよかった。携われて誇りになる。今年は学校に来ることが少なかったけれど、来れてよかった。これで子どもと話すきっかけもできた。実際に活動したことで、ここを通ると思い出すので挨拶についてもこだわります。

#### コメント

自転車の生徒、歩く生徒が帰り際に「さようなら」と声を返してくれる姿が、とても自然で、穏やかな雰囲気があると感じました。あいさつを活動の中心におき、それを受けて家庭や地域、学校がそれぞれ取り組める活動を考える中での中学校区合同の子育て広場の参加となりました。看板づくりや花植えが、学校運営協議会と校区の小中学校に加え、保育園も一緒になって行われた活動となり、あいさつだけでなく、「何かをやりましょう」という次の活動に広がっていくと感じます。より多くの人を巻き込んであいさつの輪を広げようとするのが、校区の一体感につながっていきます。

那加中学校区保護者様

#### 子育て広場(家庭教育学級の案内)

那加中学校 PTA会長  
那加第一小学校 PTA会長  
那加第三小学校 PTA会長  
那加中学校区 子育て広場長

#### 那加中学校区PTA 子育て広場の開催について

秋涼の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は各校のPTA活動にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。  
さて、標記の件につきまして下記の通り実施いたします。ご多用とは存じますが、ご参加くださいますようお願い申し上げます。なお、この活動は、那加中学校区学校運営協議会の活動と合同で開催いたします。

記

- 日時 令和2年11月24日(火) 12時50分(12:40集合)  
令和2年11月25日(水) 12時50分(12:40集合) ※予備日
- 場所 那加中学校(那加中学校の駐車場をご利用ください。)
- 内容 那加中学校区保護者による挨拶を啓発する花壇づくり  
(パンジー、ビオラの花植え)
- 持ち物 防寒具 タオル 使用後の園芸用手袋を持ち帰る袋  
(水分補給は各自でご用意ください。園芸用手袋は、こちらで用意します。)

#### 感染防止対策

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策
- ・密集回避のためソーシャルディスタンスの確保をお願いします。
- ・マスクを外す際は、ソーシャルディスタンスを確保し、会話を控えるようお願いいたします。
- ・当日は検温し、体調不良があれば欠席をしていただくようお願いいたします。

(切り取り)

年 組 児童生徒氏名 ( )  
保護者氏名 ( )

※参加について○で記入願います。  
開催日： 11月24日(火) 参加できる ( ) 参加できない ( )  
予備日： 11月25日(水) 参加できる ( ) 参加できない ( )

※ひらがな10文字程度で、挨拶を啓発する言葉を募集しています。(例) えがおであふ配に良いと思われる言葉をぜひ、お書きください。

#### 挨拶募集



10月に作成された看板

### 那加中学校区 コミスク2020

私たちは、学校と家庭と地域それぞれの役割を果たすために、互いに連携を図って那加中学校区を育てます。【「那加中学校区」学校運営協議会】

<b>家庭</b> 《我が子の健やかな成長を》 家庭とは自分自身でできる基本的な生活習慣を身に付ける <b>心も体も元気になる笑顔の挨拶を家庭から広げます。</b>	<b>地域</b> 《地域の一員としての自覚を》 誰かの輪を築いて、形になる人々の輪を築く <b>地域の大人が挨拶の輪を広げるとともに、地域の子にも我が子と同様に声をかけ、地域の子は地域で育ちます。</b>
<b>学校</b> 《誰もが安心して習得することができる学校》 信頼と共に真実を語り伝える ○学習の場として、 ・基礎、基本の定着、知識、 思考力、判断力、問題解決力、 意欲、態度の育成を促す ○学習の場として、 ・地域に誇りを持ち、 自信を持って挨拶を伝える ○学習の場として、 ・地域に誇りを持ち、 自信を持って挨拶を伝える	伝える教育の推進を図ります ・あいさつ活動の推進(小中連携) ・仲間を大切に理解する教育の推進(アセス・SST・コグトレ)

※家庭・学校と共に築き上げる教育の輪から、心豊かな子どもを育てます

岐阜県家庭教育支援条例  
家庭教育の9項目のうち  
今回の学びは😊の3項目



# 本巢市立真正幼稚園 親子オリエンテーリング 12月1日(火) 体験活動型

## ●活動の願い

コロナ感染防止対策で、集まっての家庭教育学級ができません。PTAでは在宅で取り組むだけでは残念だということで、年長さんが小学校に入る前に、感染防止対策や交通ルールについて親子で身をもって学ぶ場面を作りたいとオリエンテーリングを考えました。

## ●内容

幼稚園周辺の交流量の少ない場所、また歩道が整備されている場所を確認し、場所ごとにミッション（神社や観音様、お寺等にお参りをすることや公園でスケートボードや滑り台で遊ぶ、ドングリを拾って袋に入れる等）、クイズ（川の名前は？この食べ物の名前は？）がいっぱい工夫された親子で楽しむ活動です。

## ●コロナ感染防止対策

受付：検温、消毒、記名、位置の明示。マスクは不織布であること、さらに距離を取ることを厳しくらい強く言われ、おにぎり弁当の前の手洗いの仕方を養護教諭から説明を受けました。

## ○参加者の感想

- ・小学校入学まであと4カ月、交通安全と一緒に学べるとも良い機会になりました。
- ・普段歩かない場所を、子供と一緒に会話しながら歩き、いろいろな発見をすることができました。
- ・自宅が園の近くですが、歩いたことがなかったので、こんなよい歩道があることを知りませんでした。犀川の水がとてもキレイで驚きました。初めての公園も楽しかったです。(父)



隣との距離を取って開会式

配られたカードに写真を載せました

すてーとごころ

しんせいようじえん

せんぶくりあそび

かんのんさま観音様

かみ川

神明神社

バスステーション

めじるし

文化通り

文化通り

文化通り

## コメント

寒くなる時期ですが、天気がよく、親子で歩くと、「鳥がいる」「水がきれいだね」と自然に言葉が出ます。道路の横断では親子で左右の確認をして手を挙げて進みます。道端には「ねこじゃらし」が生えており、楽しく遊べます。役員さんや先生がポイントや道でミッションのためのお賽銭の確保や安全確認、公園で水分の配給もしています。ゴールで園長先生が記念撮影をされています。初めての試みで、何回も話し合われたと聞きました。たくさんの方々の工夫と努力で親子の関わりの濃い、素晴らしい活動ができたと感じました。



岐阜県家庭教育支援条例  
家庭教育の9項目のうち  
今回の学びは ☺ の4項目